

窓

京都新聞 令和2年(2020年)9月23日(水)

塾で教え 教員試験へ意欲

伏見区・森本 康太(大学生・21)

この夏、私は教員採用試験を受けた。そして、その試験に向けて、勉強に励んでいた。しかし、この感染症流行の状況下であり、大学の仲間と共に学び合うことがほとんどできなかった。そこで、私はアルバイトをしている学習塾で、勉強を進めることにした。

夏休みは「受験の天王山」とも言われる通り、子どもたちは一生懸命に勉強に励んでいた。その教室内の雰囲気にも、自分も頑張ろうと思った。春の一斉休校の影

響もあり、夏休みが短くなり、8月に入ってから定期テストが行われる子どもたちもいたため、分からないところを教える場面もあった。

このように、子どもたちとコミュニケーションをとる場面もあるおかげで、教える力が磨かれた。それだけでなく、気持ちを切り替えることもでき、別の苦しい試験内容に取り組みもうと思えるきっかけにもなった。最高の環境で学ぶことができたと思える。